

## 公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス SOALA小郡校		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日	～	2025年 1月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 14	(回答者数)	14
○従業者評価実施期間	2024年 12月 28日	～	2024年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者様との情報共有 その日の小さな成長や変化を具体的に伝えることを徹底しており、一貫した対応を心掛けることで安心感を提供できるよう努めております。	送迎時に伝えるべき情報を事前に共有し、一貫した情報をお届けできるよう努めています。 また、送迎時にお会いできない保護者様に関してはLINEで同等の情報を共有し、全てのご家庭に「平等に手厚いサポート」を提供できるよう努めております。	送迎時やLINEでのやり取りから保護者様が得た情報が家庭での支援につながりやすいよう、具体的な工夫やアドバイスを自然に伝えることを意識していきたいと考えています。
2	・Instagramを活用した情報発信 リーチ数やエンゲージメントの分析を行い、より効果的な情報発信を心掛けています。	事業所での活動やイベントの様子を発信しています。日々の活動を可視化して安心していただくこと、同業他社や地域の方々にも当事業所の取り組みを知ってもらうきっかけを作ることができています。 特別な行事だけでなく、日常の些細な活動も取り上げ、事業所の雰囲気や伝わるよう意識しています。	更新頻度を上げるだけでなく、投稿内容に多様性を持たせたいと考えています。例えば、保護者様向けの育児ヒントや指導員の思いを発信することで、事業所の活動や理念をより多くの方に知っていただける取り組みを考えていきたいです。
3	・本物体験の提供 日常ではなかなか体験できないような体験を積極的に提供しております。自然と触れ合う活動やブコの選手との交流、地域のイベントに参加する機会を設け、普段の生活では得られない貴重な経験を重ねることで、子どもたちの好奇心や自己肯定感を育む取り組みを行っています。	本物体験の質を高めるために、イベントの計画段階から「楽しみながら学べる事」を意識しています。自然体験では季節の変化を感じられる内容を盛り込み、料理体験では旬の食材を使用するなど、五感を刺激する工夫をしています。また、イベント後には体験を振り返る時間を設け、「やってよかった」と感じてもらえるようサポートしています。	これまでの活動実績を振り返り、地域資源や専門家との連携をさらに強化することで、より多様で深い体験を提供していきたいと考えています。また、保護者様にも事前に活動内容や目的を共有させていただき、ご家庭での話題として体験を広げられるよう工夫を進めていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ご家族様同士のつながりの不足 利用者のご家族様同士がつながる機会を提供する取り組みが少ない点が課題です。保護者参加型のイベントやペアレントトレーニング等を企画しているものの、参加人数が少ないこともあり、十分な交流の場を提供できていない状況です。	お仕事やご家庭の事情で忙しく、イベント等への参加が難しいことが要因として考えられます。また、保護者様同士の交流を目的としたイベントの数自体も多くはなく、取り組みが限定的である点が課題です。	気軽に参加できるイベントの導入や、事業所内での小規模な交流の場の提供を検討していきます。さらに、保護者様同士の情報交換が進むような仕掛けや、保護者様の声を取り入れたイベント企画など、柔軟な対応を進めていくことが必要だと考えます。
2	・避難訓練の周知不足 重要な取り組みについて、その日利用がなかったご家庭への周知が十分に行き届いていないことが課題となっています。	避難訓練の実施についてはイベント案内や口頭でご説明させていただいておりますが、詳細な内容や目的を全ご家庭に共有する仕組みが十分に整っていないことが要因として考えられます。また、利用日が異なることで情報が届きにくい状況も課題です。	記録や報告を事業所内掲示やLINEにて簡潔に共有する仕組みを取り入れていきます。これにより、保護者様が日々の活動の重要性を理解しやすくなるとともに、周知の漏れを防ぐことが期待されます。
3			